

袋井市特定事業主行動計画に基づく取組の実施状況の公表

女性の活躍職業生活における活躍の推進に関する法律第 19 条第 6 項及び次世代育成支援対策推進法第 19 条第 5 項に基づき、袋井市特定事業主行動計画に基づく措置の実施の状況を公表します。

◆市長、教育委員会、議会事務局、監査委員事務局が設定する目標

1 超過勤務の縮減

【目標】超過勤務（時間外勤務）時間数平均月 9 時間を目指す。

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年度目標として、時間外勤務命令による時間外勤務については、会計年度任用職員を含めて前年度比 5 % 以上削減を目指し、縮減に努めた。 ・週二日のノー残業デーの徹底に努めた。(毎週、木曜日と各所属または個人が選択した曜日) ・時間外勤務の事前申請の徹底に努めた。 ・災害対応など非常時を除き、午後 10 時までに退庁するよう促した。 											
取組結果	<table border="1" data-bbox="432 976 1211 1066"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均時間数</td> <td>11.0 時間</td> <td>11.8 時間</td> <td>9.5 時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>コロナ禍の状況による感染対策や給付金・支援金、ワクチン接種などの対応により業務が大幅に増えた年度であったが、前年対比 0.8 時間減という結果になった。</p> <p>引き続き、現在取り組んでいる、時間外勤務縮減の取組を継続実施し、職員個々や所属ごとの意識向上に努めるとともに、業務の集約化、効率化を目的に部内の相互支援を推進し、組織として効率的な業務遂行を推進していくことで、時間外勤務の縮減を進めていく。</p>					令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	平均時間数	11.0 時間	11.8 時間	9.5 時間
	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度									
平均時間数	11.0 時間	11.8 時間	9.5 時間									

2 管理職の女性割合

【目標】管理職の女性割合 22%を目指す。

取組内容	職員を対象とした「職員の働き方及び男女共同参画に関するアンケート」の実施											
取組結果	<table border="1" data-bbox="448 1787 1220 1877"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 2 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性割合</td> <td>19.7%</td> <td>18.1%</td> <td>16.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>アンケートには、女性活躍についての質問を含め、仕事と家庭の両立、昇格について、職員が考えていること、困っていることなどを集約し、その結果をもとに、職員同士の意見交換会を実施した。</p> <p>アンケートや意見交換会の結果を参考に、今後の取組に反映していく。</p>					令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度	女性割合	19.7%	18.1%	16.7%
	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度									
女性割合	19.7%	18.1%	16.7%									

3 係長級の女性割合

【目標】 係長級の女性割合 47%を目指す。

取組内容	<p>育児や介護等が原因での退職や仕事と家庭の両立が困難でキャリアに影響がでないよう、「育児プランシート」を活用した育児や介護などを含む休暇制度の周知及び休暇取得推進や、多様な働き方を可能とするテレワークの本格実施</p>								
取組結果	<table border="1" data-bbox="448 611 1230 701"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性割合</td> <td>41.9%</td> <td>42.1%</td> <td>44.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>育児プランシートの活用により、出産育児関連の休暇の周知及びシートを使った職場への周知を行い、当事者とその周囲の職員へのサポートを事前に検討することで、休暇を取得しやすい状況になっている。</p> <p>また、育児プランシートの提出者は、総務課職員と面談を実施し、制度の説明、復職後の働き方についての相談する機会とし、女性職員が働き続ける不安の解消に努めた。</p> <p>テレワークについては、令和2年度から本格実施し、多様な働き方の一つとして、職員が利用できるよう整備した。</p>		令和2年度	令和元年度	平成30年度	女性割合	41.9%	42.1%	44.3%
	令和2年度	令和元年度	平成30年度						
女性割合	41.9%	42.1%	44.3%						

4 男性職員の育児休業の取得者数

【目標】 男性職員の育児休業取得者数3人以上を目指す。

取組内容	<p>配偶者の出産予定日が分かった段階で、「育児等プランシート」を記入し、所属長と面談を行うよう周知した。</p> <p>「育児等プランシート」…休暇の種類や制度の説明があり、事前に休暇の計画をたてる。また、安心して育児できる体制を整えるため、所属長との面談へ繋げ、休暇を取得しやすく、働きやすい職場環境を整える。</p>
取組結果	<p>育児休業の取得者は、いなかった。</p> <p>育児休業を含めた休暇制度の資料を作成し、対象者に配布するとともに、総務課職員が対象者と面談する機会を設け、取得を呼びかけていく。</p>

5 男性職員の配偶者出産休暇取得率

【目標】 男性職員の配偶者出産休暇取得率 100%を目指す。

取組内容	<p>配偶者の出産予定日が分かった段階で、「育児等プランシート」を記入し、所属長と面談を行うよう周知した。</p> <p>「育児等プランシート」…休暇の種類や制度の説明があり、事前に休暇の計画をたてる。また、安心して育児できる体制を整えるため、所属長との面談へ繋げ、休暇を取得しやすく、働きやすい職場環境を整える。</p>																
取組結果	<table border="1" data-bbox="448 651 1233 831"><thead><tr><th></th><th>令和2年度</th><th>令和元年度</th><th>平成30年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>対象者数</td><td>13</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>取得者数</td><td>10</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>取得率</td><td>76.9%</td><td>85.7%</td><td>87.5%</td></tr></tbody></table> <p>育児等プランシートを活用や総務課職員が対象者と面談する機会を設け、取得を呼びかけていく。</p>		令和2年度	令和元年度	平成30年度	対象者数	13	7	8	取得者数	10	6	7	取得率	76.9%	85.7%	87.5%
	令和2年度	令和元年度	平成30年度														
対象者数	13	7	8														
取得者数	10	6	7														
取得率	76.9%	85.7%	87.5%														

◆袋井市森町広域行政組合事務局・消防本部が設定する目標

1 職員採用試験受験者における女性の割合

【目標】 職員採用試験受験者における女性の割合 10%を目指す。

取組内容	男女問わず単に知識を有するだけでなく、高い創造性や多様な価値観に対する理解を有する人材を積極的に確保していかなければならないため、HP、SNS、ポスター等で袋井消防の魅力を発信する取り組みをした。																		
取組結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>42</td> <td>117</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>うち女性受験者数</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>女性の割合</td> <td>9.5%</td> <td>6.8%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>				令和2年度	令和元年度	平成30年度	受験者数	42	117	53	うち女性受験者数	4	8	0	女性の割合	9.5%	6.8%	0%
	令和2年度	令和元年度	平成30年度																
受験者数	42	117	53																
うち女性受験者数	4	8	0																
女性の割合	9.5%	6.8%	0%																

2 男性職員の配偶者出産休暇取得率

【目標】 男性職員の配偶者出産休暇取得率 100%を目指す。

取組内容	配偶者の出産予定日が分かった段階で、「育児等プランシート」を記入し、所属長と面談を行うよう周知した。 「育児等プランシート」…休暇の種類や制度の説明があり、事前に休暇の計画をたてる。また、安心して育児できる体制を整えるため、所属長との面談へ繋げ、休暇を取得しやすく、働きやすい職場環境を整える。																		
取組結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和元年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>取得者数</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>取得率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>育児等プランシートを活用や対象者に休暇制度について個別説明を行うなど、引き続き、取得しやすい環境を整える。</p>				令和2年度	令和元年度	平成30年度	対象者数	9	11	12	取得者数	9	11	12	取得率	100%	100%	100%
	令和2年度	令和元年度	平成30年度																
対象者数	9	11	12																
取得者数	9	11	12																
取得率	100%	100%	100%																

3 育児参加休暇及び看護休暇取得者数

【目標】 育児参加休暇及び看護休暇取得者数 10 人を目指す。

取組内容	事務局及び消防本部毎日勤務職員については、積極的に休暇を取得するよう周知した。署隔日勤務者は勤務時最低人員が決まっているため、突発的な休暇取得は難しいが、日中のみ毎日勤務者で対応する等職場環境を整えている。														
取組結果	<table border="1" data-bbox="448 568 1225 701"><thead><tr><th data-bbox="448 568 683 613"></th><th data-bbox="683 568 852 613">令和 2 年</th><th data-bbox="852 568 1038 613">令和元年</th><th data-bbox="1038 568 1225 613">平成 30 年</th></tr></thead><tbody><tr><td data-bbox="448 613 683 658">育児参加休暇</td><td data-bbox="683 613 852 658">10</td><td data-bbox="852 613 1038 658">13</td><td data-bbox="1038 613 1225 658">12</td></tr><tr><td data-bbox="448 658 683 701">看護休暇</td><td data-bbox="683 658 852 701">0</td><td data-bbox="852 658 1038 701">4</td><td data-bbox="1038 658 1225 701">3</td></tr></tbody></table> <p data-bbox="427 705 1431 786">対象者に休暇制度について個別説明を行うなど、引き続き、取得しやすい環境を整える。</p>				令和 2 年	令和元年	平成 30 年	育児参加休暇	10	13	12	看護休暇	0	4	3
	令和 2 年	令和元年	平成 30 年												
育児参加休暇	10	13	12												
看護休暇	0	4	3												

◆中東遠看護専門学校組合が設定する目標

1 年次有給休暇の平均取得日数

【目標】年次有給休暇の平均取得日数 11 日を目指す。

取組内容	振替、特別休暇（夏季休暇・リフレッシュ休暇）を完全取得することを前提として、年次有給休暇の取得を促進する。（1年に0.6日ずつ増加を目指す。）																		
取組結果	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>令和2年</th><th>令和元年</th><th>平成30年</th></tr></thead><tbody><tr><td>夏季休暇平均取得日数</td><td>5.0日</td><td>5.0日</td><td>5.0日</td></tr><tr><td>リフ休暇平均取得日数</td><td>4.0日</td><td>4.0日</td><td>4.0日</td></tr><tr><td>年次有給休暇平均取得日数</td><td>11.0日</td><td>10.6日</td><td>9.1日</td></tr></tbody></table> <p>令和2年は目標を達成、今後も計画的に休暇を取得するよう取組む。</p>				令和2年	令和元年	平成30年	夏季休暇平均取得日数	5.0日	5.0日	5.0日	リフ休暇平均取得日数	4.0日	4.0日	4.0日	年次有給休暇平均取得日数	11.0日	10.6日	9.1日
	令和2年	令和元年	平成30年																
夏季休暇平均取得日数	5.0日	5.0日	5.0日																
リフ休暇平均取得日数	4.0日	4.0日	4.0日																
年次有給休暇平均取得日数	11.0日	10.6日	9.1日																